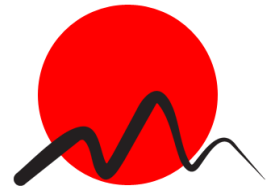


Slovenia Monthly August 2016 vol.2-no.8

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年9月12日



～8月の主なポイント～

政治：ツェラル首相、ヴラニチャル＝エルマン財務次官を新財務大臣候補と発表。

ツェラル首相、ドイツを訪問し、メルケル首相等と英国のEU離脱問題等につき協議。

経済：本年上半期の輸出が昨年同期比4.5%増。経常収支は6億5600万ユーロの黒字。

本年上半期の観光客数(約170万人弱)が昨年同期比で6.4%の大幅増を記録。

本年第2四半期のGDP成長率は2.7%、本年上半期のGDP成長率は2.5%を記録。

軍事：国防省、国際的なISIS対抗策の一環として、イラクに15名の軍教官を派遣すると発表。

治安：イゾラ市の総合病院にて拳銃を使用した殺人事件が発生。担当医師に恨みを持つての犯行。

社会：リオ五輪でスロベニア選手団が女子柔道での金メダルを含むメダル4個を獲得。

政治

【内政】

●トルコから40名の難民受け入れを決定【5日】

スロベニア政府広報局は、スロベニアの難民再移転へのコミットメントの遵守、適切な宿泊施設等を踏まえて可能な受け入れ人数を検討した結果、トルコからシリア国籍の難民40名を受け入れると発表した。今次シリア難民の受け入れは、移民流入をくい止めるため本年3月にEU・トルコ間で行われた合意に基づくもので、当初スロベニアは難民20名の永住を受け入れる予定であったが、政府は当初予定を上回る40名の受け入れを決定した。

●リュブリャナ大学での不正受給問題で関係者4名を刑事告訴【5日】

スロベニア警察は、本年1月に発覚したリュブリャナ大学等における法的根拠のない手当の不正受給問題(本年1月号ご参照)に関して、リュブリャナ大学で関与した4名を刑事告訴すると発表した。メディアは、4名の中にムラモル前財務大臣(リュブリャナ大学前経済学部長)及びテカヴチッチ現学部長が含まれていると報じている。警察は、捜査は査察局の報告書をもとに行われ、他学部も対象に捜査が継続中である旨強調した。

●ツェラル首相が新財相候補を発表【24日】

ツェラル首相は、7月に辞任したムラモル財務大臣の後任として、ヴラニチャル＝エルマン(Ms. Mateja Vranicar Erman)財務次官を候補者とする旨発表した。ツェラル首相は、同氏が公共財政のガバナンスの向上及び国有財産の管理等の政府目標に沿って職務を遂行することを期待する旨述べた。

ヴラニチャル＝エルマン財務次官は、大きな責任を感じているが、多くの課題に対する準備はできており、税制改革及び公共財政の管理等の政策の継続に向けて努力する旨述べた。

ヴラニチャル＝エルマン氏は1965年生まれ(50歳)、ハーバード大学にて行政学修士(1997年)を取得。外務省勤務を経て1993年より財務省勤務し、主に税制度、関税制度を担当。2010年4月に財務次官に任命されて以降、6年にわたり同職を務める。

【外政】

●プーチン・ロシア大統領訪問に対するエリヤヴェツ外相の発言【1日】

エリヤヴェツ外務大臣は、7月30日のプーチン大統領の訪問について、同大統領の訪問に満足しており、ヴルシッチ峠での式典における感動は、スロベニア・ロシア間の友好関係や、EU域外ではロシアがス

ロベニアにとって最重要のパートナーとなっている経済分野をはじめとする他分野での協力を発展させる鍵である旨述べた。

また、同外相は、自身とニキフォロフ通信・マスメディア大臣が共同議長を務める二国間経済協力委員会を今秋にリュブリャナで開催することで合意した。

●インドでの子供の権利啓蒙プロジェクトへの支援【10日】

スロベニア外務省は、ノーベル平和賞を受賞したインドのカイラシュ・サティーアーティ氏により創設されたNGO「Save the Childhood Movement」と協力し、デリーの公立学校2校に通学する10歳から12歳までの約1000人の児童を対象とした、「子供の権利の啓蒙プロジェクト」を支援すると発表した。同プロジェクトは、スロベニア外務省が2005年に開始した「Our Rights」プロジェクトの一環として行われ、人権教育に関する教科書の印刷や、30名の校長及び教員に対するセミナーが実施される。

●外務省の支援によるウクライナ、ベラルーシの子供へのリハビリプログラム【24～26日】

外務省が資金援助を行うリハビリテーションプログラムの一環として、国際開発協力基金との協力の下、スロベニア沿岸部のリゾートであるデベル・ルティチにウクライナから80名、ベラルーシから30名の子供が招待され、24日～26日まで休暇を楽しんだ。同プログラムは、スロベニア赤十字の運営するユース・ヘルス・リゾートの協力を得て、人間の安全保障のための国際信託基金(ITF)により運営されている。本プログラムに参加した子供達は個別及びグループカウンセリングに加え、スポーツやゲーム、ボート、海水浴、近隣沿岸都市への小旅行を楽しんだ。

●パホル大統領がドゥブロブニク・フォーラムに出席【25日】

パホル大統領は、「ドゥブロブニク・フォーラム2016」に出席し、「アドリア＝バルト＝黒海イニシアティブ」のリーダーズパネルにおいて、本件イニシアティブを支持するが、欧州における新たな東西分裂は避けるべきであるとの考えを示した。同大統領は、「本件イニシアティブは、危機に瀕する欧州の概念に対する回答となり得る。我々はそれを更に強化していくべきである」と述べ、各国の首相及び関連閣僚に対し、合同の経済・インフラ・治安強化プロジェクトへの財政支援及び実行を要請した。同パネルには、主催

国のクロアチアに加え、ハンガリー、リトアニア及びブルガリアの大統領が出席した。

●ツェラル首相のドイツ訪問【27日】

ツェラル首相はドイツを訪問し、メルケル・ドイツ首相、ケルン・オーストリア首相、ボルソフ・ブルガリア首相及びオレシュコビッチ・クロアチアの首相と英国のEU離脱後のEUの将来像等について意見交換を行った。今次会談は、メルケル首相の招待により、9月16日にブラティスラバで開催されるEU非公式首脳会合に向けた準備の一環として行われた。

ツェラル首相は英国のEU離脱問題について、「EUは将来の課題に建設的且つはっきりとしたアプローチを取るべきである」との考えを示し、会談後、記者団に対し、「我々はEUが継続して団結し、特に経済開発分野で協力が強化されることを望んでいる。また、欧州は難民や治安等の問題に対応していくために、より団結しなければならない」旨述べた。



(写真:スロベニア政府ホームページ)

●ツェラル首相のルクセンブルグ及びオランダ訪問【29日】

ツェラル首相はルクセンブルグ及びオランダを訪問し、ベッテル・ルクセンブルグ首相及びルッテ・オランダ首相と首脳会談を行った。ツェラル首相は、両首相との会談において、ブラッセルでの非公式首脳会合は、主要課題の最終的な解決策を見いだすには時期尚早であり、最終的な合意はEUの利益のために公正なものでなければならず、英国に対してこれまで以上に譲歩すべきでないとの考えで一致した。

また、ツェラル首相は、ベッテル首相との会談後、「ブラティスラバでのEU非公式首脳会合では、中東・アフリカでの危機に如何に欧州が対処し、移民防止のために貢献できるかを議論すべきである。欧州はオープンであるべきであり、当然ながら、難民資格を

満たす人々を助けなければならない。他方、不法移民は受け入れるべきではない」旨述べた。

スロベニアに迫る！⑦

スロベニアの医療：「eHealth」システム

スロベニアでは、医療サービスの質、効率性及び安全性の向上を目的に、医療制度の電子化を目指すプロジェクト、「eHealth」システムが進められています。同プロジェクトは、保健省によって2008年に開始され、現在は国家公衆衛生研究所が実施・運用を行っています。2016年までに計画された全17分野で試験運用がなされ、徐々に実用化が開始されており、重要項目の一部として以下の3分野があります。

① 患者情報中央電子登録システム(CRPP)：

権限の与えられた医療従事者が、患者の診療記録及び持病等の個人情報にアクセスすることを可能とする、「eHealth」の根幹となる統一のデータベースです。

② 電子処方箋(ePrescription)：

患者の担当医から直接薬局に電子処方箋を送付し、薬を処方します。特に長年常用している薬が切れた場合など、医者が患者の最寄りの薬局に電子処方箋を送付することで、患者は直接病院に行くことなく薬を購入可能になります。

③ 電子予約システム(eAppointments)：

地域医療の根幹となる総合病院等の二次医療への紹介等患者の予約情報を医療機関間で共有します。これにより医者は待ち時間の少ない医療機関へ患者を紹介でき、患者の待ち時間が短縮されます。

経済

【マクロ経済・統計】

●2016年上半期の輸出統計【9日】

スロベニア統計局は2016年上半期の輸出入統計を発表し、輸出は昨年同期比4.5%増となる124億7500万ユーロ、輸入は昨年同期比1.8%増となる118億1900万ユーロとなり、経常収支は、6億5600万ユーロの黒字であった。

●2016年上半期の平均月収【16日】

スロベニア統計局は、2016年上半期の平均月収に関する統計を発表し、総月収で1571ユーロ、純月収で1021ユーロとなり、昨年同期比、名目で1.9%、実質で2.4%上昇した。統計地域で平均月収を上回ったのは中央スロベニア地域のみで、総月収

は1746ユーロ、純月収は1113ユーロであった。

●対スロベニアFDI統計【22日】

スロベニア中央銀行は、月例報告書の中で、本年6月までの過去12ヶ月においてスロベニアへのFDIが14億7000万ユーロ増加した旨明らかにした。最も増加した分野は株式投資及び既に投資している分野への再投資で3億3600万ユーロとなっている。

●2016年上半期の観光客統計【22日】

スロベニア統計局は本年上半期の観光に関する統計を発表し、観光客数ベースでは168万4970名で昨年同期比6.4%と増加し、そのうち外国人は111万3838人で8%の大幅な増加となった。宿泊日数ベースでは427万4808泊となり、昨年同期比4.5%増を記録した。そのうち外国人観光客は261万3640泊で昨年比6.7%増となった。

●2016年上半期は2.5%のGDP成長率を記録【31日】

スロベニア統計局は、2016年第2四半期のGDP成長率が2.7%であった旨発表し、その結果、本年上半期の実質GDP成長率は2.5%を記録した。

第2四半期では経常収支黒字が0.9%、個人消費の拡大が2%GDP成長率を押し上げた。

【金融・企業関係】

●コペル港の2016年上半期業績【22日】

コペル港湾会社は本年度上半期のデータを公表し、自動車の輸出入台数が対前年比22%増の約35万台となり、全種類の貨物輸送の中で最も大きな伸びを記録したことを明らかにした。昨年の自動車の輸出入台数において、コペル港は地中海の港の中で、バルセロナ、バレンシアに次ぎ第3位を記録した。同港湾会社は2020年迄の戦略計画の中で、自動車及びコンテナ輸送を戦略的品目に指定し、自動車の輸出入台数を85万台まで増加させ、地中海第1位の地位を目指すとしている。

●ブレンッチ教育相が中国教育部副部長と会談【22日】

ブレンッチ教育・科学・スポーツ大臣は、スロベニアを訪問中の Liu Kimin 中国教育部副部長と会談し、言語教育及び文化理解の重要性で合意し、中国側はリュブリャナ大学経済学部内に設置された孔子学院の活動を賞賛した。

また両者は、10月に中国で両国間の教育分野に

おける協力に関する覚書に署名することで合意した。

中国代表団は2022年冬期北京五輪に向けたスポーツ分野での協力にも関心を示し、プラニツァのノルディック・センター及びクラン・ギムナジウムのスポーツ施設を視察した。

スロベニアに迫る！⑳

スロベニア企業発のアイデア商品

スロベニアの企業は高い技術力とアイデアを生かした商品を開発・販売しています(昨年12月号でも少し紹介しておりますのでご覧ください)。

電子ペーパー機器などを販売する企業、「Visionect」社は、美術館・博物館向けの電子ペーパーラベルの供給を開始しました。展示品紹介に利用されるこの電子ペーパーラベルは、コスト削減につながるほか、観覧者が指でタッチすると表示言語を切り替える機能を追加できるなどの利点があります。また、シンガポール交通局は、同社のカラー電子ペーパーを国内11箇所のバス停留所のディスプレイ装置として試験採用することを決定しました。この電子ペーパー機器は、太陽電池のみで稼働し、夜間にフロントライト表示させる設計になっています。

○Visionect 社 HP: <https://www.visionect.com/>

また、「Ulla」社は、コップやペットボトルに装着し、こまめで十分な水分補給を促すバンド型デバイスを販売し、すでに10万個を売り上げています。このデバイス「Ulla」にはセンサーが内蔵されており、水分補給のタイミングを LED ライトが光ることで知らせ、飲むだけで自動的に消える仕組みです。販売価格は1つ24.99ドルとなっています。

○Ulla 社 HP: <https://www.ulla.io/>



Ulla 社のバンド型デバイス(写真は同社 HP より)

軍事

●スロベニア軍教官のイラク派遣【25日】

国防省は、ISISに対する国際的な対抗策の一環として、イラク内クルディスタンのエルビルにある合同調整センターに派遣予定の15名の軍教官のうち、6名が第一陣として9月上旬に派遣される旨発表した。これらの教官らはドイツ軍の指揮下に入り、スロベニアとドイツ両国政府は、近日中に合意文書に署名する予定となっている。また、教官らは、移動訓練グループ及びパートナー・キャパシティ強化グループに配属され、歩兵武器・戦術、基礎的な野戦医療、土木・通信分野を中心とした訓練を担当する。

治安

●病院における拳銃使用殺人事件の発生【22日】

22日、国内南西部イゾラ市(Izola)にある総合病院にて、70歳の男が医師と警察官を射殺し、さらにもう一名の警察官に重傷を負わせ、本人も死亡する事件が発生した。犯人は担当医師に恨みをもって犯行に及んだとみられ、報道筋は、犯行動機は医療サービスへの長い待ち時間であるとしている。警察によれば、犯人は病院近くの村出身で、過去に郵便局強盗の罪で服役した歴があり、病院にはこの医師を殺害する目的で来院した。犯人の死因については、自殺を図ったのか、駆けつけた警察との銃撃戦により死亡したのか明らかになっていない。

25日、本事件を受けて、医療会議所と医師労働組合は、医師と患者間の緊張が高まっており、国は増加しつつあるリスクにさらされている医療従事者と警察官を守る施策を導入すべきであると声明を発表した。これに対し、ツェラルツ保健大臣は、労働組合は本事件を自身の要求を主張するために政治利用しているとして非難し、同声明は、保健省が取り組んでいる医療従事者と患者の関係強化に資するものではない旨述べた。

社会・文化・スポーツ

●スロベニアでの病気離職【22日】

リュブリャナ大学病院のラザル医師は、スロベニアにおける病気休暇が年間1000万日を超えていると指摘し、けがや呼吸器等の病気による休暇が依然として主要な理由となっているものの、過去数年で精神の問題を理由とする病気休暇が増加しているとした。

また、ラザル医師は、過密労働や生活環境、ワークライフバランスの問題、及び仕事でのコミュニケーション不足が精神病の増加につながっていると、職

場での健康推進プログラムを行っているが、病気休暇を減らすにはまだ至っていないと述べた。

スロベニアに迫る！ ⑳

リオ五輪でのスロベニア選手団の活躍

スロベニア選手団は、リオ五輪で金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル1個の計4個のメダルを獲得し、人口比メダル獲得数において世界第7位(欧州諸国では第3位)となりました。柔道ではスロベニア選手の中でメダル最有力候補であった女子63キロ級のティナ・トゥルステニャク選手が、決勝でフランスの選手を破って金メダルを獲得し、スロベニアはロンドン五輪のウルシュカ・ジョルニル選手に続いて本階級を二大会連続で制覇しました。また女子78キロ級のアナマリ・ヴェレンシェク選手も銅メダルを獲得しました。

男子セーリング・フィン級では40歳のヴァシリ・ジュボガル選手が銀メダルを獲得し、同選手にとって五輪で3つ目のメダルとなりました。ジュボガル選手はレース後に引退を表明しました。

また、男子カヤックではペテル・カウゼル選手が銀メダルを獲得し、過去に世界選手権や欧州選手権で優勝していましたが、五輪では初めてのメダルとなりました。

大会後にデロ紙が行った調査では、スロベニア人の85%が五輪での代表団の活躍に満足と回答し、最も印象に残った競技では、第1位が柔道(63%)、続いてハンドボール(15%)、セーリング(9%)、カヤック(4%)となりました。



金メダルを獲得したティナ・トゥルステニャク選手

(写真: www.slovenskenovice.si)

発見！スロベニア

セチョウリエ塩田

アドリア海北東沿岸部における製塩の歴史は非常に古く、記録上は9世紀初頭にまで遡ります。当時、塩はこの地域における最も重要な貿易品の一つであり、沿岸部のトリエステ、ピラン、イゾラ、コペル等の町が発展したのも、この製塩業があっただけでした。



(c) Portorož Tourist Board

20世紀の初頭、スロベニア沿岸部には数多くの塩田が点在していましたが、その数は時とともに減っていき、今日ではセチョウリエ塩田とストウルニヤンの一部に小規模の塩田を残すのみとなりました。セチョウリエ塩田はドラゴニャ川河口に位置し、14世紀以来の伝統的な製法を守りながら、650haにも及ぶ広大な土地で今もなお、製塩業が営まれています。1989年、ピラン市は、このセチョウリエ塩田及び近くのセチャ半島を包含する地域を「セチョウリエ塩田自然公園」に指定されました。



(c) Portorož Tourist Board

セチョウリエ塩田がある一帯は、国際的にも重要な汽水湿地帯であり、水鳥たちの繁殖地としても知られています。1993年、ラムサール条約の国際的に重要な保護湿地リストにスロベニアの湿地帯として初めて指定され、2001年にはスロベニア政府がセチョウリエ塩田一帯を自然保護区域に、また製塩博物館を国の指定重要文化財として指定しました。今日まで272種の水鳥が確認され、内90種がこの地域を繁殖地としており、その種類の多さは他に類を見ません。



セチョウリエ塩田付近でよく見られるコサギ

また、2003年、セチョウリエ製塩博物館は、文化遺産保護の最も優れたケースであるとして、EUからエウロパ・ノストラ・アワードが授与されました。



セチョウリエ製塩博物館 (c) Portorož Tourist Board

セチョウリエ塩田で作られた塩は「ピランの塩」として販売され、EU内では原産地指定の商品として取り扱われています。この「ピランの塩」は、ピラン付近の海底から採取される「ペトラ」(ミネラル成分が豊富なバクテリアの堆積層)を塩田に敷き詰め、その上に海水を引き込み、天日と風のみで自然に乾燥させながら、全て手作業で作られます。この過程で塩田の表層に出来るピラミッド型の塩の結晶「ソルトフラワー」は、苦みが少なく、バランスの良い旨味が特徴で、この地を治めていたハプスブルク家にも献上されるなど、古くから珍重されてきました。

また、セチョウリエ塩田北部には「レパ・ヴィーダ」という屋外のリラゲゼーション・スパ施設があり、タラソテラピーやマッサージ等の施術が受けられるようになっています。



レパ・ヴィーダ (c) Portorož Tourist Board

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●PIKA Festival

毎年、ヴェレニエ湖畔の広場で開催される子供向けの行事。今年は、日本文化を紹介するブースを設け、ワークショップや展示を通じて、スロベニアの子供たちに日本を伝えます。

日時: 9月18日～24日 9:00～19:00頃まで。

入場無料

詳細は <http://www.pikifestival.si/en/>

●和太鼓「鬼太鼓座」公演

1969年に佐渡で結成され、現在静岡を拠点に国内外で活躍する和太鼓グループ「鬼太鼓座」がリュブリャナで公演を行います。過剰なパフォーマンスを極限まで削ぎ落とした力強い和太鼓演奏は、大人から子供まで楽しめる舞台芸術です。

日時: 9月27日(火) 19:30～

場所: リュブリャナ市内ツァンカリエウ・ドム ガルス・ホール

入場料: 15～22ユーロ

詳細は <http://www.cd-cc.si/en/music>

【領事班からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●「たびレジ」をご利用ください！

「たびレジ」とは、海外に行かれる方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。海外旅行や海外出張をされる方は、是非登録してご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

たびレジには「簡易登録」の機能もあります。これは、メールアドレスと国・地域を指定するだけで、対象国・地域の最新海外安全情報メールなどを入手できます(緊急時連絡を除く)。この「たびレジの簡易登録」も是非ご活用下さい。

(詳細は、<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)